

江戸の戯曲

鳥羽絵から北斎・国芳・暁斎まで

特別展



2018
4.17(火)~6.10(日)

前期：4月17日(火)~5月13日(日) 後期：5月15日(火)~6月10日(日)

開館時間 = 午前9時30分~午後5時(入館は閉館の30分前まで)
休館日 = 毎週月曜日(ただし4/30は開館) ※5/1も開館
※災害などにより臨時で休館となる場合があります。

主催 = 大阪市立美術館、毎日新聞社、MBS
後援 = ベルギー大使館 協賛 = 大和ハウス工業

大阪市立美術館
Osaka City Museum of Fine Arts
〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82 [天王寺公園内] ※期間中、展示替があります。



えどのがが 大阪に集合

世界初!
前期には歌川国芳「金魚づくし」9図が全て揃うよ!

第五章 滑稽名所

幕末の三都を舞台に笑い倒す

幕末になると、名所を舞台とした戯画が出版されるようになり、主なシリーズとしては、「江戸名所道戯尽」、「滑稽都名所」、「滑稽浪花名所」などが挙げられるでしょう。江戸・京・大坂の名所を舞台に繰り広げられるドタバタ劇は、風景がきつちりと描かれているだけによりばかばかしく感じられます。



一篤斎芳梅 5/8~27展示
「滑稽都名所 清水寺」
立命館大学アート・リサーチセンター



歌川広景 後期
「江戸名所道戯尽 二十二 御蔵前の雪」
太田記念美術館



一篤斎芳梅「滑稽浪花名所 住吉」 前期
和泉市久保惣記念美術館



河鍋暁斎『暁斎漫画』 河鍋暁斎記念美術館



第六章 暁斎

幕末から明治を生きた鬼才も戯画を

幕末から明治にかけて活躍した河鍋暁斎(1831~1889)も戯画を多く手掛けた絵師の一人です。近年、狩野派を中心に諸派を学んだ本格的な絵師として再評価されている暁斎ですが、その画業は数え7歳の時に歌川国芳に入門したことに始まります。2年で国芳の下を去ったとされますが、武者絵とともに戯画を得意とした国芳の門に入ったことは、幼い暁斎に少なからぬインパクトを与えたことでしょう。のちに暁斎が描いた戯画には、国芳からの明らかな影響が見られるものがあり、そのユーモアの感覚が受け継がれていることがわかります。



河鍋暁斎「風流蛙大合戦之図」 河鍋暁斎記念美術館

5/29~6/10展示



講演会
4月28日(土)「鳥羽絵から北斎・国芳・暁斎へ」
秋田達也(当館主任学芸員)
5月19日(土)「エッ、笑える絵って!? 絵を見て笑うということ」
田沢裕賢(東京国立博物館 学芸研究部長)

◆時間：各日とも午後2時~3時30分
◆会場：美術館1階講演会室 ◆定員：150名
※申込み不要、先着順、聴講無料、ただし当日の本展観覧券が必要です。

◎交通案内=JR・地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、北西へ約400m
◎お問い合わせ=大阪市総合コールセンターなにわコール TEL.06-4301-7285(年中無休・午前8時~午後9時)

観覧料

	当日	前売/団体
一般	1,400円	1,200円
高大生	1,000円	800円

※団体料金は20名以上。
※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料(要証明)。
※大阪市内在住の65歳以上も一般料金。
※前売券の販売期間は1/17(水)~4/16(月)

発売所=チケットぴあ(Pコード：768-816)、ローソンチケット(Lコード：56475)、セブンチケット、イープラス、阪神プレイガイド、近鉄駅営業所ほか京阪神の主要プレイガイド、主要コンビニエンスストア。

本展覧会のチケット(半券可)のご提示で、「ポスト美術館浮世絵名品展 鈴木春信」(4/24~6/24、あべのハルカス美術館)の当日券を100円引きでご購入いただけます(1枚につきお一人様1回限り有効)。
※ほかの割引券との併用不可

大阪市立美術館
Osaka City Museum of Fine Arts
〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82 [天王寺公園内]
http://www.osaka-art-museum.jp

表(右)歌川国芳「金魚づくし いかだのり」(右)歌川国芳「きん魚づくし ぼんぼん」(左)歌川国芳「其ま、地口猫狗好五十三」すて部分、個人蔵